

2026年6月11日
商工中金キャピタル

**投資先である日建産業株式会社株式の譲渡を実施
～ハンズオン支援を経て事業承継を実現～**

商工中金キャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中西 秀一、以下「当社」）は、2025年1月に株式の一部を取得した日建産業株式会社（本社：大阪府大阪市、代表者：濱口 健宏、以下「日建産業」）が、株式会社ものづくり事業承継ホールディングス（以下「JMS」）のグループ企業となる方向が決定し、株式取得による支援を終了いたしました。

日建産業は、建設機械メーカー向け部品を中心とした商社事業と、ライニング鋼管等の加工事業を併せ持つ企業です。品質管理体制と自動化設備を強みに、建機・インフラ分野に製品を供給しています。

当社および親会社である株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）は、2025年1月に日建産業株式の一部を取得し、資本面での支援を開始しました。以降、当社は役員派遣を通じたハンズオン支援を実施し、経営課題の整理やガバナンス体制の構築を進めるなど、事業承継に向けた経営基盤の強化に取り組んできました。

その中で、最適な継承先の選定に向けた検討を進める中、長期保有を志向するセレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長兼CEO：竹内 在、以下「セレンディップ」、証券コード：7318）との協議が進展しました。商工中金のM&Aアドバイザリー機能も活用し、2026年6月11日、セレンディップが設立した投資ビークルであるJMSを通じた株式譲渡契約の締結に至りました。商工中金はJMSに10億円の出資を予定しており、本件はJMSを通じて実施する第一号案件となります。

今後、日建産業は現代表取締役である濱口健宏氏が引き続き代表取締役社長として留任し、セレンディップから取締役CFOとして水田裕木氏を迎え、JMSのグループ企業として共同提案や製品開発の強化を通じ更なる事業成長を目指す方針です。

当社は今後も、インベストメント事業を通じ、中小企業の成長支援および企業価値向上に取り組んでまいります。

【日建産業株式会社の概要】

所在地	大阪府大阪市西区立売堀 2-1-9 日建ビル9階
代表者	濱口 健宏
業種	鋼管製造業
資本金	9,000万円
従業員数	78名（2026年3月時点）
設立	1946年6月



【日建産業の加工品例：クレーンブーム用高強度鋼管】